

## ごみ処理の過程を理解

自動車の窓ガラスを再生利用する機器を見学する参加者  
— 須賀川市・大越工業



### 須賀川・三春で親子見学会

県の「ごみの未来を考え  
る親子見学会」は九日、三  
春町の田村西區環境センタ  
ー、須賀川市の大越工業で

開かれ、親子連れが廃棄物  
処理の正しい知識と必要性  
に理解を深めた。

県中地方などの親子十七

組約四十人が参加。郡山市  
の県郡山合同庁舎をバスで  
出発した後、三春町の同セ  
ンターで勉強会に臨んだ。

勉強会では、担当職員が  
環境学習用のパンフレット  
を使って、ごみ処理の過程  
やリサイクルの方法、地球  
温暖化防止の仕組みなどを  
説明した。

同センターの施設見学で  
は、一般廃棄物の焼却施設  
や灰を溶融する最新設備、  
廃プラスチックを粉砕する  
機器などを見て回った。

須賀川市の大越工業で  
は、使用済みの自動車を資  
源に再生利用する取り組み  
を学んだ。同社では、エン  
ジンやガラス窓、車体、パ  
ンパーなどをアルミや銅、  
プラスチックなどにリサイ

クルしている。このうちガ  
ラス窓は粉砕され、陶磁器  
や建築資材などに利用され  
ており、参加者は興味深く  
専用機器に見入り、環境保  
全の意識を高めていた。

県は本年度、産業廃棄物

税を活用し学習用パンフレ  
ット「ごみの未来」を作り、  
県内の小学四年生に配布し  
た。見学会は、ごみの未来  
事業の一環としてリサイク  
ルの意識を啓発しようとい  
って開かれた。